

株式会社ユニバンス、やさいバス食堂株式会社に出資
農業関連事業への展開も視野に

駆動系専門メーカーのユニバンス（本社：静岡県湖西市）は、持続可能な地域経済を支えるための新しいスタイルの食堂、やさいバス食堂株式会社（本社：静岡県掛川市）に出資をいたしましたのでお知らせします。



▲ 掛川市の「やさいバス食堂」

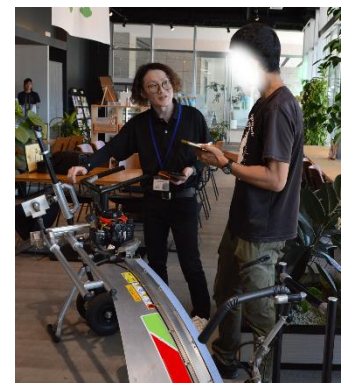
1. 出資の背景

自動車業界が大きな変革期を迎えるなか、当社は新たな価値創造に取り組んでいます。その一環として、「誰もが『無理なく・楽しく・おいしく』明日へ歩みだす。」ことを目指す、やさいバス食堂株式会社様の理念に共感し、農業関連事業への展開を模索する中で、同社との連携を通じて知見を広げることが目的に出資を決定しました。

2. 連携の具体例

2025 年 9 月 26 日（金）、掛川市の「やさいバス食堂」のコワーキングスペースにて「茶刈り機作業軽減アタッチメントご紹介イベント」を開催しました。このイベントには、お茶農家、農機メーカー、金融・報道機関等の皆さまにお越しいただきました。

開催にあたり、やさいバス食堂様には当日の準備へのご協力だけでなく、株主様向けメールマガジンでのイベント案内、店内へのチラシ設置など、多大なるご協力をいただきました。



3. 今後の展望

今後も、やさいバス食堂株式会社様との連携を深め、農業関連事業の参考にさせていただきながら、地域社会への貢献と新たな事業創出を目指してまいります。



なぜユニバンスがお茶関連ビジネスに？

自動車業界が 100 年に一度の変革期を迎える中、当社は生き残りをかけて新たな市場に挑戦しています。その一環として、お茶関連ビジネスに取り組んでいます。

静岡県では、かつて美しい茶畑が広がっていた地域で、高齢化によりお茶農家が減少し、放棄された茶畑が増えています。これにより、景観の悪化だけでなく、自然災害や生態系への影響、不法投棄の原因にもなっています。

加えて、茶葉の価格低迷や売れ行き不振、設備投資や作業の身体的負担の大きさなどから、農家の継続は困難な状況です。

こうした課題に対し、ユニバンスの社員は、農家の負担を軽減し、茶葉の付加価値を高めることで、持続可能な仕組みを構築し、美しい茶畑の景観を守りたいと考え、事業化を模索しています。

なお、このビジネスプランは、浜松地域イノベーション推進機構と浜松市が主催、株式会社 Wewill が運営する「挑む中小企業プロジェクト」の昨年度の成果発表会で最優秀賞を受賞しました。



<問い合わせ先>

株式会社ユニバンス 経営管理部 広報・秘書グループ 西野 雅美

mail : masami.nishino@champ.uvc.co.jp